



## テック製造株式会社 サイトレポート情報

所在地	: 静岡県田方郡函南町仁田233-20
敷地面積	: 3,487m <sup>2</sup> 、建家面積: 2,036m <sup>2</sup> 、緑化率3.0%
設立	: 1974年8月、従業員: 207人(2011年3月現在)
主要製品	: コンデンサ、高圧電源、電子機器
統合マネジメント認証取得	: 2009年2月(ISO9001,ISO14001,OHSAS18001,ISO/IEC27001)
最新更新年月	: 2011年1月14日(ISO認証番号:JQA-IG0028-04)



## ごあいさつ

当社は、この「かけがえのない地球環境」を守り、健全な状態で次世代に引き継ぐことが基本的責務との認識にたつて、東芝テックグループの経営理念及び行動基準に基づき行動します。照明器具用コンデンサや電子機器製品の製造、販売などの事業活動を行い、環境影響を低減するための環境保全活動や省エネ活動を全員参加で推進しています。今後も継続的な取り組みで環境負荷の低減を図り、企業の社会的責任(CSR)を果たすべく邁進してまいります。



環境保全責任者 山下 國裕

## 2010年度の環境の主な取り組み

- \* 統合マネジメントシステムの認証継続(12月2日:定期審査)
- \* 化学物質排出量削減  
化学物質の排出量は 47.2% (2004年度比)
- \* CO2総排出量削減  
CO2(エネルギー)の総排出量は 40.4% (2000年度比)
- \* 廃棄物の削減  
廃棄物総発生量は 11.4% (2000年度比)  
最終処分率は 28.1% (2000年度比)

## 製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

- ・ リユースを考慮した製品、環境配慮資材の調達指導等を行いながら、開発を進めてまいりましたが、現在は環境経営の重要な柱である「環境経営マネジメント」「エコプロセスの推進」「環境コミュニケーションの推進」の行動基準を掲げ、全員参加で業務での環境負荷低減に取り組んでいます。

## 環境コミュニケーションの紹介

- \* 地域との協調  
川清掃活動の参加、地域への各種環境行事の参加
  - ・5/9 「三島の川をきれいにする奉仕活動」桜川
  - ・6/5 せせらぎルートの清掃奉仕活動
  - ・6/26 見晴学園 清掃奉仕活動
  - ・6月 三島市エコエコデー、ノーカーデー
  - ・9/25 大場川清掃奉仕活動 など

東芝テック(株)静岡事業所(三島)・(三福)、  
テック製造(株)、(株)テックプレジジョン

**IMS基本方針及び行動基準**

**【序文】**

「水と緑と人が輝く夢あるまち・三島」に立地している三島事業所を中心として、伊豆地域に所在する各組織が一丸となって、「かけがえない地球環境」を守り、次世代に引き継ぐことを責務として、「人を大切にします」「豊かな価値を創造します」「社会に貢献します」という東芝グループ経営理念に基づき、エレクトロニクスを応用した社会に貢献するビジネス機器分野を中心に事業展開して行きます。


私たちは、IMS基本方針と行動基準を守り、お客様・地域の皆様・従業員の満足と企業価値の向上に努めます。

そのために、品質・環境・労働安全衛生・情報セキュリティの統合マネジメントシステムを構築・維持することにより、相乗効果を創出し、バランスの取れた継続的改善に取り組めます。

**【IMS基本方針】**

1. 統合された目標を達成するための統合マネジメントシステムを維持し更に向上する。
2. 目標設定にあたっては、個々の最適化から全体最適化を図り、バランスの取れた目標を設定して、継続的な改善に取り組む。
3. 目標達成に向けて、リソースを効率的に運用すると共に、社会の動向や事業環境の変化に対し柔軟に対応する。
4. 事業を展開する国内外の法規制、お客様との契約、社内外の規程・規範を遵守する。

2010年4月23日  
東芝テック株式会社 静岡事業所  
執行役員事業所長

原 康 三 

**東芝テック株式会社 静岡事業所 環境行動基準**

1. 環境経営の重要な柱として、「環境経営マネジメント」、「エコプロダクツの開発」、「エコプロセスの推進」、「環境コミュニケーションの推進」を掲げ、環境対応に積極的に取り組む。
2. 「環境経営マネジメント」
  - ・ 事業活動、製品、サービスに関わる環境的側面について、環境負荷の低減、汚染防止などに関する目的・目標を設定し、環境施策の展開により継続的な改善・向上を図り、定期的な見直しを行う。
  - ・ 環境に関する法令・条例及び組織として受入を決めた要求事項を遵守し、また各サイト独自の自主基準を設定して遵守する。
  - ・ 社員一人ひとりが環境活動を推進できるように、環境教育・啓蒙活動を展開し、環境マインドを高める。
3. 「エコプロダクツの開発」
  - ・ 製品・サービスに使用する材料は開発時・調達時に、RoHS、WEEE、REACHを遵守した材料を選定・仕入を行い、東芝グループのグリーン調達方針を推進・実行する。
  - ・ 環境調和型製品の提供をするため、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を配慮した製品設計及び製品の省エネルギー、特定化学物質全廃設計に取り組む。
4. 「エコプロセスの推進」
  - ・ 地球資源の有限性を認識し、省資源（排出物の減量とリサイクル）、省エネルギー、化学物質の適正管理に取り組み、環境配慮生産をおこなう。
  - ・ 環境に配慮した文房具・OA機器などのグリーン購入を推進する。
5. 「環境コミュニケーションの推進」
  - ・ 東芝テックグループ及び関係・協力会社を含め一体となった環境活動を推進するため、関係・協力会社に対し指導・支援を行う。
  - ・ 環境方針、環境活動について広く社内外へ公開する。
  - ・ 行政、地域、関係団体などと協調・連帯を密にし、社会全体の環境活動に貢献する。
  - ・ 環境汚染の予防に努めるとともに、敷地周辺に及ぶ騒音・振動並びに悪臭等を抑え、近隣社会の生活環境の保全をはかる。

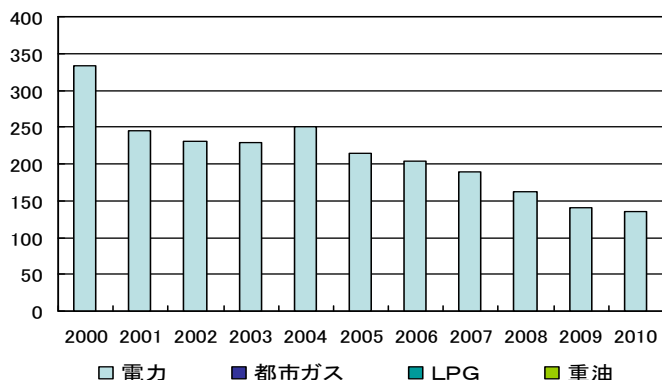
2010年 04月 23日  
東芝テック株式会社 静岡事業所

執行役員事業所長

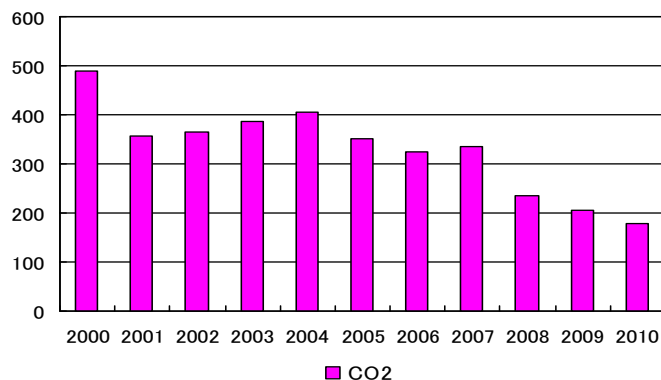
原 康 三 

環境負荷データ

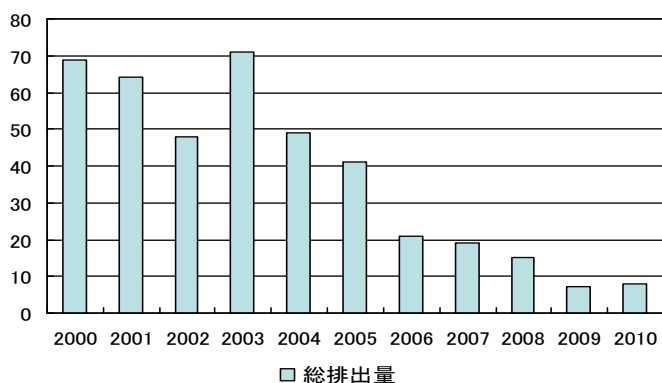
エネルギー使用量(単位:KL)



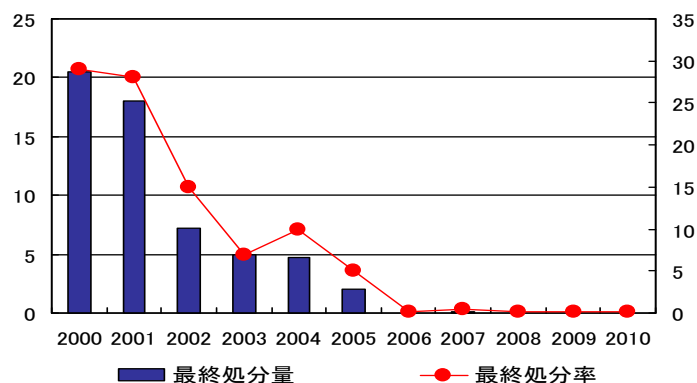
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

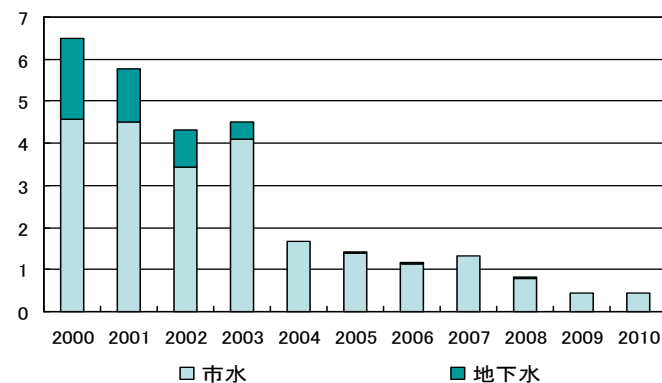


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

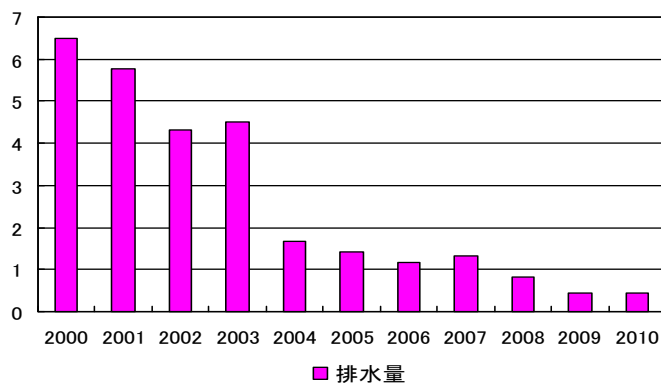


主な廃物名: 金属、廃プラスチック、油等

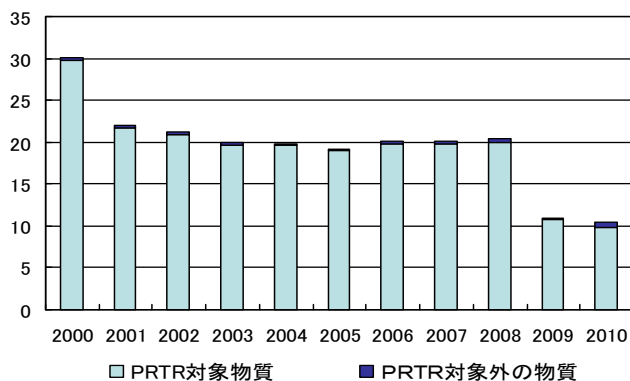
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



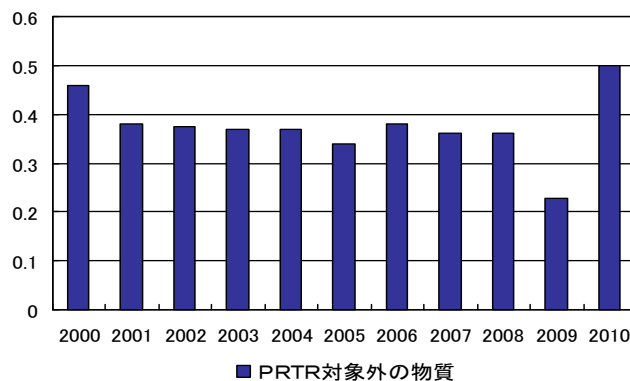
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: ビスフェノールA型エポキシ樹脂、テラヒドロ無水フタル酸、トルエン

## 遵法管理状況

### <大気測定結果> (対象施設なし)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

### <排水測定結果> (主な測定結果)(排水処理施設)、河川(来光川～狩野川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6(協定値)	6.0～8.4	7.5	各月1回
BOD(mg/ℓ)	25(協定値)	23	1.1	各月1回
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

### <騒音・振動測定結果> (特定施設(騒音 コンプレッサ施設、振動 コンプレッサ施設))

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	55	55	51.5	1回/半期
	敷地境界:夜	45	45	38.7	1回/半期
振動(dB)	敷地境界:昼	65	60	40.0	1回/半期
	敷地境界:夜				

### <その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)下水道が未整備

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

### <環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

環境目標

2011年度のサイトの主な環境目標

推進項目	指標	2011年度目標
地球温暖化の防止	CO2総排出量 (1990年度基準)	54%以下 ※総排出量見込:241t-CO2
資源の有効活用	最終処分率 ・廃棄物総発生量 (2000年度基準)	0.125%以下 12%以下 ※総発生量見込:0.8t以下
化学物質管理	大気・水域への排出量 (2004年度基準)	47%以下 ※排出量見込:0.16t

環境目的

2012年度のサイトの主な環境目的

推進項目	指標	2012年度目標
地球温暖化の防止	該当なし	該当なし
資源の有効活用	該当なし	該当なし
化学物質管理	該当なし	該当なし